

■欧州：欧州9カ国の国民の40%、電気自動車への買換えを検討

2018年10月2日の現地専門誌によると、調査会社 Ipsos MORI が実施した世論調査において、回答者の40%が、電気自動車（または燃料電池車）への買換えを検討していることが分かった。この調査は、欧州9カ国（フランス、ベルギー、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、ポーランド、スペイン、スウェーデン）で各国500名、合計4,500名に対して実施された。肯定的な回答率が最も高かったのはスペインとイタリアで、「（電気自動車を購入する可能性が）非常に高い」と「かなり高い」の合計比率は、それぞれ58%と56%だった。一方、肯定的な回答率が最も低かったのはフランスとドイツで、フランスは30%に留まった。また、電気自動車の購入を思いとどまる理由として、9カ国全体で「価格の高さ」（65%）と「充電ステーションの不足」（38%）が主に挙げられた。